

三田市障害者授産製品販売所"アンテナショップ"（市役所本庁舎ロビー）

開設 10 周年記念キャンペーン(4 月 1 日～末日)

三田市内の障害者施設で構成する三田市障害者ワークチャレンジ実行委員会が、平成 28 年に三田市役所ロビーにおいて開設いたしました「アンテナショップ（愛称：キラリ）」が、この度 10 周年を迎えました。

今まで支えて頂いた多くの市民の皆様や、市行政・関係者の皆様に感謝して記念キャンペーンを行っています。従来の製菓品や小物類の他、期間限定で記念商品の販売や、ロビーの広報ビデオでは、参加施設の紹介や授産活動ビデオを放映しています。

三田わくわく村も、期間限定商品など出品していますので是非お立ち寄り下さい。これから一層の応援よろしくお願いいたします。

皆様のご来店をお待ちしています！！



キラリの販売の様子



わくわく村主力のあにまるクッキーと安くてボリュームのあるドーナッツ各種



10 周年のチラシ

避難訓練をしました

3/27（木）大原事業所で避難訓練が行われました。今回は消防署の方にも来ていただき消火訓練も行いました。



三田市消防署の方によるお話し

消防署の方からは、火災の煙には有毒な一酸化炭素が含まれており、吸い込むと死に至るリスクが高く、煙は天井から空気を求めて動く性質から、避難する時は扉を閉めることの重要性を教えてくださいました。

これからは、火の回りを遅らせることにも注意し、避難訓練していきます。



水消火器を使った訓練

わくわく村のパンフレットが新しくなりました



わくわく村のパンフレットが新しくなりました。全 8 ページで構成され、季節の行事や作業の様子もたくさん入り楽しい内容になっています。

風後援会総会のお知らせ

いつも風後援会をご支援いただきましてありがとうございます。令和 7 年度の総会並びに研修会を下記の日程にて開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：令和 7 年 6 月 7 日（土）13 時 30 分～15 時 00 分
場所：三田わくわく村 大原事業所 食堂
内容：定期総会、研修会（内容未定）



新職員の紹介

令和 7 年 1 月 6 日付け

大原事業所放課後等デイサービスで勤務しています。まだまだ勉強不足ですが、よろしくお願いいたします。

☆大原事業所・放課後等デイサービス 北山雄太

これからの予定

5/16(金)

事業所交流ハイキング



編集後記

わくわく通信は今回 100 号を迎えました。いつもお読みいただきありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

わくわく通信

発行 社会福祉法人 風
障害福祉サービス（多機能型）
三田わくわく村

〒669-1515 三田市大原 1546-5
(TEL)079-564-0909
(FAX)079-564-8500

(e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp
(Hp アドレス) <http://sandawakuwakumura.com/>

令和 7 年度入所式

桜の花が咲き始め、春の訪れを感じる中、令和 7 年度入所式を執り行いました。

今年度は上野ヶ原特別支援学校より 4 名、神戸特別支援学校より 1 名、ひまわり特別支援学校より 1 名計 6 名の仲間を迎えました。内訳は、大原事業所の生活介護事業に 2 名、すすかけ台事業所の生活介護事業に 2 名、就労継続支援 B 型事業に 2 名となっています。

6 名の方は、真新しいスーツに身を包み、緊張した面持ちでこの日を迎えました。



保護者の方も参列されました



全員の記念撮影

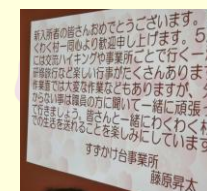
施設長や保護者会会長、各学校の先生方より激励の言葉を、各事業所の先輩利用者さんからは、歓迎の言葉をいただきました。

「ええねん」の音楽に合わせてわくわく村を紹介するムービーを観ることや、BGMに乘せて誓いの言葉を述べる等、終始和やかな雰囲気の中で式を終えました。新しい生活をスタートされる 6 名の利用者さんにとって、これから始まるわくわく村での門出にふさわしい晴の日となりました。

職員一同、精一杯日中活動の支援をさせていただきます。



利用者のお祝いの言葉と来賓の方々



お祝いの言葉をスクリーンで映し出しました。

風 後援会からご入会のお願い

社会福祉法人風後援会は、障害者の自立と三田わくわく村の発展を願って平成 7 年に発足し、寄付活動や理解啓発活動を進めています。

毎年皆様のご入会（ご寄付）により、送迎車両の購入や雨よけ上屋の整備など、利用者の皆さんの活動環境整備を進めています。

今後、一層活動の輪が広がりますよう本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、今年度より事業所等のみなさん方にもご支援いただきたく賛助会員の入会をお願いしています。

個人年会費 1口 1,000 円
事業所等賛助会費 1口 3,000 円 振込先は下表のとおりです

金融機関	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行		01110-3-66308
三井住友銀行	三田支店（店番 391）	普通 3808145
三井住友銀行	ウッディタウン出張所（店番 395）	普通 3120072

名義は全て『社会福祉法人風後援会』です

【お問い合わせ】

「風」後援会事務局 三田わくわく村大原事業所内

〒669-1515 三田市大原梅ノ木 1546-5

☎079-564-0909

社会福祉の増進に寄与し功労のあった者・団体、及び、社会福祉活動に協力援助した者・団体に対し、三田市社会福祉協議会会長表彰がありました。この度、三田わくわく村から 5 名の職員が受賞しました。

受賞者（勤続年数）
・佐々 孝（19 年）
・田川 みゆき（18 年）
・大野 康子（17 年）
・奥 貞晴（16 年）
・似吹 かおり（15 年）



福祉センターにて



欠席された方に、三田市社会福祉協議会事務局長が訪問、表彰して頂きました

（受賞者より）

この度は社会福祉貢献賞をいただき、ありがとうございました。三田わくわく村に 18 年 9 か月勤務しております。これまで動めることができたのは、色々悩みながらも現場が楽しかったからだと思います。これからも皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています！！

活動方針

令和 7 年度は、新規利用者を 6 名迎え 116 名でスタートします。わくわく村は、令和 8 年度で創立 30 周年を迎え、18 歳で利用を開始した方は 48 歳、その保護者の方は 80 歳前後になり、急速に進む高齢化社会（8050 問題）が現実的なものになってきました。わくわく村も今大きな変革の時期にきています。65 歳になれば介護保険制度への移行が優先され介護保険にないサービスはそのまま障害福祉サービスの利用が可能です。介護保険へ移行が必要な福祉サービスは、生活介護事業が該当します。そのため、引き続き通い慣れた環境や職員の支援を受けることが出来るように「共生型サービス」を令和 8 年度の開設を目指し準備します。また、大原事業所生活介護事業は、幅広い年齢層で様々な障害特性の方が混在し、事故や怪我のリスクが非常に高く、利用率が 100% を超えていることから、すずかけ台事業所生活介護事業と併せて事業体系の見直しを図ります。その基本コンセプトは大原事業所が、強度行動障害や医療的ケアを必要とする利用者を対象とし、すずかけ台事業所生活介護事業は、高齢や車椅子、ダウン症など知的障害の方全般を受け入れ、4 年かけて段階的に再編します。

2000 年の社会福祉基礎構造改革では、サービスを利用者自らの意志で利用するサービスについて選択できる利用制度に方向転換し、サービスの質と量の向上を掲げ、2003 年に支援費制度が施行されました。しかし、予想以上のサービス利用による財源不足やサービス量の不足など問題が生じ、障害者総合支援法へ改正される中で、福祉サービス事業所の量及びサービスの充実が図られました。福祉サービスの増加や少子化問題、ニーズの変化によりわくわく村では利用期限のある就労移行支援事業は定員割れが続いたことから令和 6 年度で事業の廃止し、志手原事業所就労継続支援 B 型事業を 14 名から 20 名に変更します。その他の定員割れしている事業についても事業体系を積極的に見直し、魅力的且つ効率的で効果的な事業運営を進めていきます。この他に創立 30 周年事業や大原事業所用地取得の具体化、第四期中期運営計画の策定準備に取り掛かります。また、令和 7 年 6 月には 4 年に一度の法人役員（理事、評議員会、監事）の一斉改選時期を迎えることから、各組織の充実を図り、組織ガバナンスの充実と牽制機能の強化を図ります。

予算

科 目	R7 年度予算(a)	R6 年度決算見(b)	増減(a)-(b)
〈事業活動による収支〉			
就労支援事業収入	16,235	16,095	140
障害福祉サービス等事業収入	309,859	305,790	4,069
経常経費寄附金収入	350	263	87
その他	425	346	79
事業活動収入計	326,869	322,494	4,375
事業活動による支出			
人件費支出	213,116	207,583	5,533
事業費支出	32,674	32,439	235
事務費支出	35,088	36,056	-968
就労支援事業支出	16,235	15,687	548
その他	839	74	765
事業活動支出計	297,952	291,839	6,113
事業活動資金収支差額	28,917	30,655	-1,738

単位:千円、端数処理を行っています。

令和 7 年度予算は、報酬単価改定の 2 年目であり、昨年度並みの収入予測である一方、職員の処遇改善や、車両やパソコン等の更新に係る固定資産の取得による支出の増により、予算全体としての収入総額は、328,033 千円(対前年度決算比 101%)、支出総額は 321,451 千円(対前年度決算比 102%)で、令和 6 年度当初予算に比べて予算規模は増加したものの、収支差額は、+6,582 千円と低い水準であります。

なお、予算の収支を大きく占める事業活動収支差額は、前年度決算見込額に比べて-1,738 千円を想定しておりほぼ同等の水準であり、依然として健全経営を維持できると判断しておりますが、現下の不安定な日本経済情勢を考えると、安心できる状況にはありません。今後も更なる収入確保や経費削減などに努めてまいります。

役職員の配置

支援課

経営・管理者

理事長 西田孝夫
参与 長田武彦
参与・事務長 番庄孝夫
施設長・理事 奥 貞晴

総務課

課長補佐 高原亜理沙
リーダー 秋田光司

大原事業所
(生活介護)

所長補佐 久保田智文
所長補佐 谷村奈智
リーダー 菊池梨沙
リーダー 平阪翔

(放課後等デイサービス)

所長補佐 阿部福美

(相談支援)

所長補佐 坂本慶頭

志手原事業所

所長補佐 小田聖子

本町事業所

所長補佐 似吹かおり
リーダー 柚木園將之

すずかけ台事業所

所長補佐 家次寛治
シニアリーダー 田川みゆき

令和 7 年度 事業所の主な取り組み

大原事業所
(生活介護)

利用者の皆様が安心して過ごしていただけるよう、内部研修などにより、障害特性や状態に応じた必要な知識を深めると共に危機管理能力を高め、リスクを把握し事故を未然に防ぐことができるよう努めてまいります。



武庫川の桜並木を散歩



みなさんが楽しみにしている一泊研修旅行・浴衣姿で勢ぞろい



池田にあるカップラーメンミュージアムにグループに分かれて行きました



三田市の公園緑化からお花の苗を頂きみんなで植えました

(放課後等デイサービス)

本年度は高校生 20 名、中学生 2 名、小学生 10 名のスタートとなります。ご家庭と学校と連携し、信頼していただける事業所となるよう努めて参ります。



月 2 回音楽療法があります。利用者の皆さんは音楽にあわせて楽器を演奏したり、踊ったりすることが大好きです

本町事業所
(就労継続支援 B 型)

個々の障害特性や高齢化など年齢に応じた支援を行う事によって、一人ひとりが能力に応じて最大限の意欲を発揮し達成感を味わいながらスキルアップできるようにしていきます。



有馬富士公園の落ち葉拾い清掃



本町事業所近くのトークゆうゆうに行き、チーズケーキとお茶をいただきました



農福連携 腐葉土で畑の土づくりをします



農福連携 溝の落ち葉取り作業

志手原事業所
(労継続支援 B 型)

志手原事業所は室内作業を縮小し、利用者全員がそれぞれの強みを生かして製菓作業に取り組めるようスキルアップを目指します。

志手原事業所の特色である製菓事業を更に盛り上げ、わくわく村の認知度向上に向けて取り組んでいきます。



ハーバーランドへ行きました



あにまるクッキー作り



内職作業



健康づくりのため公園の外周をみんなで歩きます



フルーツフラワーパークのプロジェクションマッピング。寒かったけどとてもきれいでした

お子様の個性や障害特性を理解し、ご本人の強み・興味のあること・好きなことに注目して、わくわくする楽しみのある活動プログラムを提供し、豊かな経験ができるよう取り組んで参ります。

すずかけ台事業所

(生活介護)



チョコレートの袋詰め作業

(自立訓練)

今年度で訓練を終了する皆さんに、その方にあった事業を検討し、スムーズに移行できるようにしていきます。



調理訓練

(就労継続支援 B 型)

作業中心に活動を行い、それぞれの作業スキルに合わせた内容を提供することで、一人一人が意欲を持って過ごすことができるよう支援を行います。



PE 袋作業